

令和元年度第8回大学運営連絡会議事要旨

日時	令和元年12月10日(火) 10時30分～12時03分
場所	大学本部2階大会議室
出席者	学長, 渡理事, 山下理事, 寺本理事, 佐々木監事, 早瀬副学長・全学教育機構長, 板橋教育学部長, 小坂芸術地域デザイン学部長, 中村経済学部長, 豊田理工学部長, 小林農学部長, 山下附属病院長, 高椋総合分析実験センター長, 山崎附属図書館長, 山崎副学長・事務局長
欠席者	末岡医学部長
陪席者	鯉川学長補佐, 小野学長補佐, 穴井学長補佐, 後藤学長補佐, 岩本学長補佐, 只木学長補佐, 山口学長補佐, 西郡学長補佐, 吉永学長補佐, 宮武地域学歴史文化研究センター長, 永田海洋エネルギー研究センター長, 郭シンクロトン光応用研究センター長

○ 学長から, 令和元年度第7回大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

(1) Scival (サイバル) のプレゼンについて

寺本理事から, 学術に関する論文をベースとした研究の分析ツールである Scival について, エルゼビア・ジャパン株式会社の満留氏より紹介していただく旨の説明があり, 次いで, 満留氏から, 佐賀大学の研究力強化に向けたエルゼビアによる支援及び Scival による分析等の説明があった。

渡理事から, 料金の確認があり, 満留氏から, 年間契約で合計900万円弱である旨の発言があった。

寺本理事から, 九州圏内の大学の状況の確認があり, 満留氏から, 九州地区の国立大学では大分大学と佐賀大学以外は利用している旨の発言があった。

附属図書館長から, 鹿児島大学では, Scival を研究の評価メインではなく, 研究者のネットワーク構築に利用しているとの話を伺った事がある旨の発言があり, 満留氏から, 研究トピックス毎の各大学の研究者が分かる等評価以外の利点について説明があった。

(2) 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書の作成等について

学長から, 調書について, 各学部等との意見交換等により収集した意見を踏まえ, 示された観点(項目)ごとに各理事室及び学長企画室において作成しており, 意見等がある場合は企画評価課へ連絡いただきたい旨, 文部科学省に提出する前に臨時役員会において審議する旨の説明があった。

- (3) 令和2年度国立大学法人運営費交付金「成果を中心とした実績状況に基づく配分」における配分指標に活用するデータ等の提出について

財務課長から、令和2年度国立大学法人運営費交付金「成果を中心とした実績状況に基づく配分」について、会計マネジメント改革状況等の配分指標において、成果を中心とする実績状況に基づき、約700億円を配分するため、文部科学省より関連データの提出依頼があった旨、教育・研究の評価について、国立大学協会で検討中である共通指標の説明があった。

- (4) その他
特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- (1) 活動現況等について月例報告

西郡IR室長から、IR室で月例データを確認した結果、各部局で課題と考えられる点について説明があり、次いで、学長から、課題等の詳細については当該部局に後日メール等で連絡するため、対応いただきたい旨の発言があった。

- (2) その他
特になし。

【 その他 】

環境施設部長から、サークル会館等施設改修の執行状況について、執行済み事業において、学生からの要望への対応等で執行額が当初予定より増額した旨、未執行事業における予算及び改修（案）について説明があり、その後意見交換が行われた。

以 上